

平成22年 第4回定例会報告

第4回定例会には、平成22年度補正予算関係4件、条例関係2件、人事案件2件、その他の案件3件、決算関係14件の25件が市長から上程され、その他請願1件を提案しました。

人事案件2件は、2日目に採決をし、原案のとおり可決しました。

今定例会に上程されました予算関係、条例関係、その他の案件、決算関係の23件は、各常任委員会に付託され、9月13、14日に第2常任委員会、15、16、17日に第1常任委員会でそれぞれ審査し、本会議において、すべて原案のとおり可決しました。

また、請願については、第1常任委員会に付託され、審査の結果、不採択となり、本会議においても不採択となりました。

本会議での採決状況及び結果につきましては、下表のとおりです。

議 案 名	採決結果	議案の主な内容
平成22年度土岐市一般会計補正予算（第2号）	全会一致	補正額 286,726 千円 市道安全確認総点検事業等
平成22年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致	補正額 178,468 千円
平成22年度土岐市介護保険特別会計補正予算（第1号）	全会一致	補正額 50,999 千円
平成22年度土岐市病院事業会計補正予算（第1号）	全会一致	補正額 9,240 千円
東濃西部広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び東濃西部広域行政事務組合規約の変更について	全会一致	広域にわたる振興整備計画に関する事務の廃止のため
土岐市教育委員会委員の選任同意について	全会一致	黒田正直さんの選任同意
土岐市公平委員会委員の選任同意について	全会一致	山中浩司さんの選任同意
財産の取得について	全会一致	給食センター厨房消耗品 契約金額 48,782,937 円
損害賠償の額を定めることについて	全会一致	倒木による損害賠償 損害賠償の額 542,760 円
平成21年度土岐市一般会計決算の認定について	賛成 15 反対 1	歳入 21,498,637,223 円 歳出 20,814,111,255 円
平成21年度土岐市曾木地区市有林管理特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 702,486 円 歳出 702,486 円
平成21年度土岐市下水道事業特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 3,311,461,946 円 歳出 3,311,131,966 円
平成21年度土岐市交通災害共済特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 11,801,065 円 歳出 11,801,065 円

議 案 名	採決結果	議案の主な内容
平成21年度土岐市国民健康保険特別会計決算の認定について	賛成 15 反対 1	歳入 6,214,878,957 円 歳出 5,936,411,373 円
平成21年度土岐市自動車駐車場事業特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 68,212,178 円 歳出 62,463,291 円
平成21年度土岐市老人保健特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 78,931,308 円 歳出 78,931,308 円
平成21年度土岐市介護保険特別会計決算の認定について	賛成 15 反対 1	(保険勘定) 歳入 3,777,283,033 円 歳出 3,753,736,440 円 (サービス勘定) 歳入 19,708,480 円 歳出 19,708,480 円
平成21年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 54,499,382 円 歳出 17,835,298 円
平成21年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 36,730,151 円 歳出 36,730,151 円
平成21年度土岐市・瑞浪市障害者自立支援認定審査会特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 4,232,764 円 歳出 4,232,764 円
平成21年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計決算の認定について	全会一致	歳入 1,021,052,301 円 歳出 1,020,584,201 円
平成21年度土岐市病院事業会計決算の認定について	全会一致	歳入 6,034,997,765 円 歳出 6,422,607,767 円
平成21年度土岐市水道事業会計決算の認定について	全会一致	歳入 1,671,048,139 円 歳出 1,620,349,939 円
土岐市火災予防条例の一部を改正する条例について	全会一致	住宅用防災機器の基準を定める省令の一部改正に伴う改正
土岐市手数料徴収条例の一部を改正する条例について	全会一致	手数料の標準に関する政令の一部改正に伴う改正
戦争をしないためにも `草の根、の声を国会に送っていただく請願について	採 択 5 不採択 11	

委員会報告

第二常任委員会

☆平成22年度土岐市一般会計補正予算
(第2号) 所管部分

○農地制度実施田滑化事業について

質疑 農地法の改正により、毎年一回、すべての農地の利用状況調査を実施することだが、調査目的は。

答弁 すべての農地の利用状況を調査し、農地基本台帳の整備、農地に関する相談、農地の有効利用を図るための資料などを目的としている。

○有害鳥獣捕獲事業報奨金について

質疑 イノシシの捕獲数は7月末で195頭であり、今後210頭分を予算計上し、合計400頭見込んでいるが、被害状況の内訳について

答弁 全体の約70%は濃南地区であり、約30%は北部地区である。また、猟友会に委託し、毎年檻の台数を増やし捕獲している。

○3Dプリンター消耗品購入事業について

質疑 3Dモデリングシステムが好評であると聞いているが、件数や実態、待ち時間など、どのような状況か。

答弁 4月から7月までの利用状況

は、4月25件、5月29件、6月27件、7月21件の合計102件であり、利用者の内訳は、商社が半分、メーカーが半分である。また、好評ではあるが、あらかじめ予約なしでも受付できる状況である。

○市道安全確認総点検事業について

質疑 事業内容は。

答弁 市道の破損、ガードレール、倒木等などの危険箇所を総点検する事業であり、現地調査に92日間、台帳作成に約40日間、雇用者は4名予定している。

☆平成21年度土岐市一般会計決算認定
(所管部分)

○資源物の集団回収奨励金交付事業について

質疑 昨年度と比べ142トン減っているが、現状をどうみているのか。

答弁 商品形態がビンからペットボトルに変わったり、販売業者が空き缶・ペットボトルを回収したり、市場の変化により、資源物は年々軽減していくと推測している。

○プレミアム商品券事業補助金について

質疑 プレミアム商品券は発売初日の2時間で完売したが、地域の経済効果はあったのか。

答弁 プレミアム商品券は、土岐市プ

レミアム商品券事業委員会が1万円で1万1千円の商品券を、1万セット発行する事業であり、市では、その事業目的に賛同し、プレミアム分1千万円、事務費2百万円を予算計上した。事業の成果として、低迷する消費需要を喚起し、地域経済の活性化を図ることができた。

○道路橋梁維持費の原材料費の残額の理由について

質疑 高齢化により、地元対応が難しくなったため、町内からの要望が減ったという説明であるが、現状は整備されていない道路がかなりある。なぜ、整備しないのか。

答弁 市道の整備は、市で対応するが、私道の整備は市で対応することができない。そのため、支給条件に合う場所については、原材料を支給し、地域の住民で労力を出し合って整備していただいている。しかし、地域住民の高齢化により整備できない状態で、原材料の要望が減ってきている。解決策として、原材料を要望し、地域住民が費用を出し合い、業者に依頼している地域もある。

○合併浄化槽設置事業について

質疑 設置数が少なかった理由は。

答弁 生活排水処理基本計画に則って、補助対象設置数を110基と予算

計上している。しかし、5人槽が11基、7人槽が11基で合計22基であった。

○教育設備の電子黒板について

質疑 どのような活用をされているのか。

答弁 各学校に1台配置し、従来のパソコンは、マウスで操作していたが、電子黒板はタッチパネルで操作が速い。液晶画面ということで、非常に鮮明な画像であり、大画面で迫力がある。また、専用ソフトを活用して教科書と併用したり、画面に直接書きで入力したりして、大変活用している。

☆平成21年度土岐市下水道事業特別会計決算認定

○不納欠損の欠損理由について

質疑 所在及び財産が不明との説明だが、滞納整理の流れについて

答弁 未納者には、督促状・催告状・電話催告や訪問等を行い、何とか納めていただくように分納誓約を行っている。所在及び財産が不明の方は、下水道使用料の効効は5年であるため、不納欠損処理をしている。現在の社会情勢では、払う気持ちはあるが、現金収入がないため払えない人が多くなっている。

☆平成21年度土岐市交通災害共済特別会計決算認定

質疑 年々、加入者が減っているが、加入者を増やすために努力しているのか。

答弁 各世帯に全戸配布し、ホームページでも周知している。

☆平成21年度土岐市農業集落排水事業特別会計決算認定

質疑 21年度から始まった公債費の償還金について

答弁 21年度は、元金が約85万円、利子が約80万円となった。22年度以降の公債費は、利息については、約80万円の30年償還になり、元金については、22年度は約400万円、23年度は約750万円、24年度は約1千万円、25年度は約1千2百万円と毎年増えていくと推測している。

☆平成21年度土岐市水道事業会計決算認定

質疑 水道料金の値上げについて

答弁 水道料金は値上げをしないよう、職員数を減らして日々雇用職員にするなど、経費削減に努めている。耐震管の敷設替え等もあり、値下げすることはできない状況である。

質疑 水道事業企業債について、利率が5%以上の債権は21年度で終わったのか。

答弁 国の指導を受けて経営健全化計画に基づいて利率5%以上の債権を借り替えた。利率5%以上の債権はない。

第一常任委員会

☆平成22年度土岐市一般会計補正予算(第2号) 所管部分

○臨時財政対策債について

質疑 どのような対応をしているか。

答弁 借入れについての返済は元利償還金を交付税100%基準財政需要額に算入され、21年度の借入れはしておらず、出来る限り、借入れはしないようにと考えている。

○東濃地域医師確保奨学金負担金について

質疑 7名の申込者のうち、土岐市立総合病院勤務希望者は何名いるか。

答弁 土岐市立総合病院勤務希望者1名と勤務してもいいという意思表示者1名の計2名である。

☆平成22年度土岐市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

○療養給付費等負担金について

質疑 返還金が大幅に生じた要因は。

答弁 平成21年度の予算編成時に、保

険給付費の見込みを対前年比約8%増とし、上半期の伸びを加味し補正したところ、下半期に入り落ち着いた支払いになったため大幅な返還額となった。

☆平成22年度土岐市病院事業会計補正予算(第1号)

○看護師の確保について

質疑 どのようなアプローチをしているか。

答弁 看護師長と事務職員と一緒に各学校を回りアプローチしている。

☆東濃西部広域行政事務組合の共同処理する事務の変更及び東濃西部広域行政事務組合規約の変更について

質疑 広域にわたる振興整備計画を作らなくていいということはその時その時で柔軟に対応できるのか。

答弁 広域圏でやったほうが事務的に効率上がるのであればそうなっている。

☆財産の取得について

○新給食センターの財産の取得について

質疑 食器かこの購入は新しい給食センターになり食器が増えるからか。

答弁 従来一枚一枚流して洗浄していた方法が変わり、かごに入れたまま洗

浄するため食器に合ったかごが必要になる。

☆損害賠償の額を定めることについて

○倒木の被害について

質疑 今回の被害は、フェンス、車両の損害であるが、どのような物が倒れてきて、今後事故が起こらないよう対策をしているか。

答弁 根元回りが直径30センチ位のアカシヤの木の倒木で、ネットフェンスが、支柱から支柱のワンスパンが折れ曲がり、車両は木の一番茂った先が屋根を直撃し、屋根がへこみフロントガラスにヒビ及び側面に傷がついた。今後全部取り除くには相当な費用が掛かるため、危険な物から対処していきたい。

☆平成21年度土岐市一般会計決算認定(所管部分)

○徴収実績の向上について

質疑 市税滞納額の成果が非常に上がっているが、具体的にどのような行われたか。

答弁 19年度から嘱託徴収員を雇用し臨戸訪問に当たった事。20年度から職員を東濃県税事務所へ派遣し、県税職員と一緒に徴収に当たった。

○法人市民税の還付額について

質疑 法人市民税の予定納税に係る還付額について

答弁 174件、加算金を含めて6千2百56万円の還付があった。

○生活保護の状況について

質疑 生活保護の相談及び受給の状況について

答弁 相談件数222件、そのうち保護申請が49件、保護開始が40件である。

討論 電源立地地域対策交付金が、経常経費である保育園、消防署の職員の人件費に充てられているのは納得いかない。この決算に賛成できない。

☆平成21年度土岐市国民健康保険特別会計決算認定

○人間ドックについて

質疑 人間ドックの実施人数の制限は。

答弁 当初予算編成の段階で定員を定めるが、希望者全員に出来る限り受診していただきたいという、市長の思いがあり、予算の枠の中で全ての希望者に受診していただいている。

討論 医療費の抑制目的に特定健康診査を実施するのは間違っている。人間ドックの自己負担額を軽減した方が充実した疾病予防対策となる。この決算には賛成できない。

☆平成21年度土岐市介護保険特別会計

決算認定

○介護サービスの利用状況について

質疑 40歳以上65歳未満の第2号被保険者の介護サービスの利用状況は。

答弁 要介護認定者数は63名で、居宅サービスを受けた件数は617件であった。

討論 本に必要な方に必要なサービスが提供されることが大事であり、ケアプランでサービスが制限されるのは、本に必要な介護が受けられないため、この決算には賛成できない。

☆平成21年度土岐市・瑞浪市介護認定審査会特別会計決算認定

○審査会について

質疑 審査会特記事項の審査は徹底しているか。

答弁 全体会の開催が年4回、その他研修会を開催し徹底している。

☆平成21年度土岐市後期高齢者医療保険特別会計決算認定

○すこやか健診について

質疑 当初450人を予定していたが実績では、188人であった。その要因は。

答弁 既に多くの方が医者にかかっておられ、別の健診を敬遠する方も多く、それが大きな要因である。

討論 後期高齢者医療制度は問題があり一日も早く廃止すべきだと思うが、健診、ドック等の方法も改善されており賛成する。

☆平成21年度土岐市病院事業会計決算認定

○DPCについて

質疑 DPC導入に伴う増収は。

答弁 試算ではあるが通常の出来高請求よりも1年間で8千万円程度の増収と見込んでいる。

☆土岐市手数料徴収条例の一部を改正する条例について

質疑 審査料が10%安くなり、それに伴い手数料も引き下げるのか。

答弁 危険物保安技術協会が審査料を引き下げたことに伴い、手数料も減額される。

☆22請願第1号 戦争をしないためにも『草の根』の声を国会に送っていただく請願について

質疑 昨年の同趣旨の請願から損害賠償の項目がなくなっているが、その項目をはずした経緯について

答弁 (紹介議員から)シベリアの抑留者への補償が一部認められるなど、大きな動きが出ている。治安維持法によ

る損害賠償について、そうした流れの中で国に期待しながら、地方として皆さんに賛成していただける内容とするために議論を重ねながら変更した。

意見 この請願はよくまとめられていますし、市内に関係者がいるのであればなおさら土岐市議会として行動を起こすべきと考え採択する。

今までの土岐市議会での同様の請願について審議の経過や、治安維持法損害賠償要求同盟の東濃支部だけが損害賠償の項目をはずし、同同盟の県中央では引き続き運動をしていくことは本質的に変わっていないと判断し不採択とした。

討論 戦後こういう法律を作った事は、国際的にも間違っているというところで日弁連などの結論も出ている。誤りは気がついた時に正していただき、次に同じ過ちを二度と繰り返さないことが必要であると考え、この請願に皆さんの賛成をいただきたいと思います、賛成する。

常任委員会所管部署	
第1常任委員会	総務部 市民部 福祉事務所 会計課 消防本部 総合病院 老人保健施設 やすらぎ 駄知診療所
第2常任委員会	建設部 経済環境部 水道部 教育委員会